

(07) 埋設管補修工事

件名	(07) 埋設管補修工事	図面 番号	仕様書 番号
名称	表紙	1 / 8	51
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年 5月 8日	

仕様書

1 件名

(07) 埋設管補修工事

2 工事場所

栃木県宇都宮市茂原1-5-45 陸上自衛隊宇都宮駐屯地

3 工事概要

土木工事、機械設備設備工事 一式

4 一般事項

- 本件は本仕様書による他、下記仕様書及び関係諸規則に基づくものとする。
国土交通省監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事、機械設備工事）」
国土交通監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事、機械設備工事）」
- 本仕様書に議事が生じた場合は、監督官と協議を行いその指示に従うものとする。
- 現場の収まり等により、軽微な変更の必要性が生じた場合は、監督官と調整しその指示に従うものとする。ただし、請負金額、納期等の変更は行わないものとする。
- 工事実施に関して、隊員及び部外者に障害等を与えた場合、または施設等に汚損を与えた場合は、受注者の責任において保障するものとする。
- 工事に先立ち監督官と協議の上、実施工程表を作成し提出するものとする。
- 図面・材料等の見本は、必要に応じ監督官に提出するものとする。
- 現場で火気を使用する場合は、監督官に申告した後必要な手続きを行い、許可された後に使用する。（各種溶接作業を含む。）
- 撤去品が発生した場合、金属類発生材は、関係書類提出後監督官が指示する場所に搬入するものとし、その他は全て廃棄物の処理及び清掃に関する法律に関する法律に基づき適正に処理するものとする。また、処理の結果は書面（産業廃棄物管理票等）にて納期までに提出するものとする。
- 工事写真は、各工事工程表の使用材料及び施工後隠蔽になる箇所、その他監督官の指示する箇所を撮影し、整理の上1部提出するものとする。
- 工事現場及び許可された場所以外への無断立入等は厳禁とする。
- 工事完了後は、作業現場の後片付け及び清掃を行うものとする。

5 特記事項

(1) 土木工事

掘削及び埋戻し

- 掘削幅は、施工可能な範囲の最小とする。
- 埋戻しは、根切り土の中の良質土により、1層の仕上り厚さが、0.3m以下となるよう均一に締固める。また、埋戻しに際して地中埋設物に損傷を与えないよう注意する。
- 掘削箇所には、バリケード、安全灯等を設置する他、道路横断箇所には通行に支障を来さないよう調整マット、仮設歩道（手すり共）等を設ける。

アスファルト舗装工

アスファルト舗装材は、下表のとおりとする。

材 料	規 格
アスファルト混合材	再生密粒度アスファルト混合物（13）
乳材	プライムコート PK-3

路盤工

- 振動ローラ等で入念に締固めを行うものとする。
- 路盤材は、下表のとおりとする。

材 料	規 格
上層路盤材	粒度調整砕石 M-30
下層路盤材	再生クラッシュラン RC-40

(2) 機械設備工事

配管工

- 蒸気給気管、蒸気還管に使用する材料については、以下のものとする。

呼 称	名 称	規 格
鋼管	圧力配管用炭素鋼鋼管	黒管 sch40

注) 規格にない鋼製溶接式管継手の、材料、製造方法、品質等は、JISに準ずるものとする。

- 接合方法については、溶接接合とする。
- 配管については、ローラバンド等で支持するものとする。

塗装工

- 新設配管及び継手については、素地ごしらえ後、錆止めペイントを2回塗布するものとする。

保温工

- 保温材については、以下のとおりとする。

配管名	呼び径	使用材料	厚 さ	備 考
蒸気給気管	200A	グラスウール保温筒	40mm	暗渠内
蒸気還管	80A	グラスウール保温筒	40mm	暗渠内

- ラッキング材については、以下のとおりとする。

呼び径	使用材料
80、200	ステンレス鋼板

工 事 名 称	(07) 埋設管補修工事	図面 番号	2/8
図 面 名 称	仕様書	縮 尺 図 示	
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年 5月 8日	

- ウ 保温の厚さは、上記のものとする。また、保温の厚さは、保温材主体の厚さとし、外装及び補助材の厚さは含まないものとする。
- エ 保温施工順序は、グラスウール保温筒、鉄線、ポリエチレンフィルム、着色アルミガラスクロス、ステンレス鋼板とする。
- オ 鉄線巻きは、原則として、帯状材の場合は、50mmピッチ（スパイラルダクトの場合は150mmピッチ）以下にらせん巻き締め、筒状材の場合は1本につき、ロックウールフェルト及び波形保温板の場合は500mm以下に1箇所以上、2巻き締めとする。
- カ 保温の見切り部端面は、使用する保温材及び保温目的に応じて必要な保護を行うものとする。

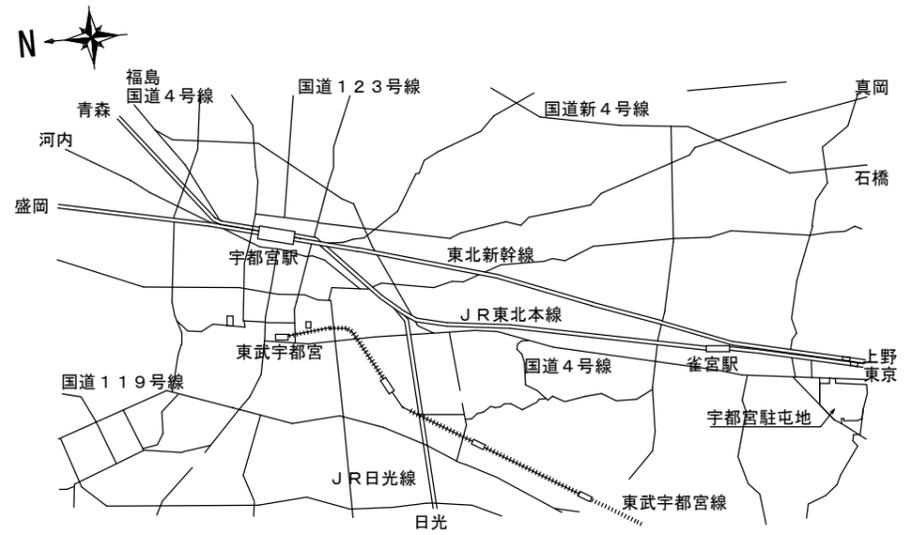
試験

既設配管と接続前に新設配管を乾燥空気等を用いて気密試験を行う。

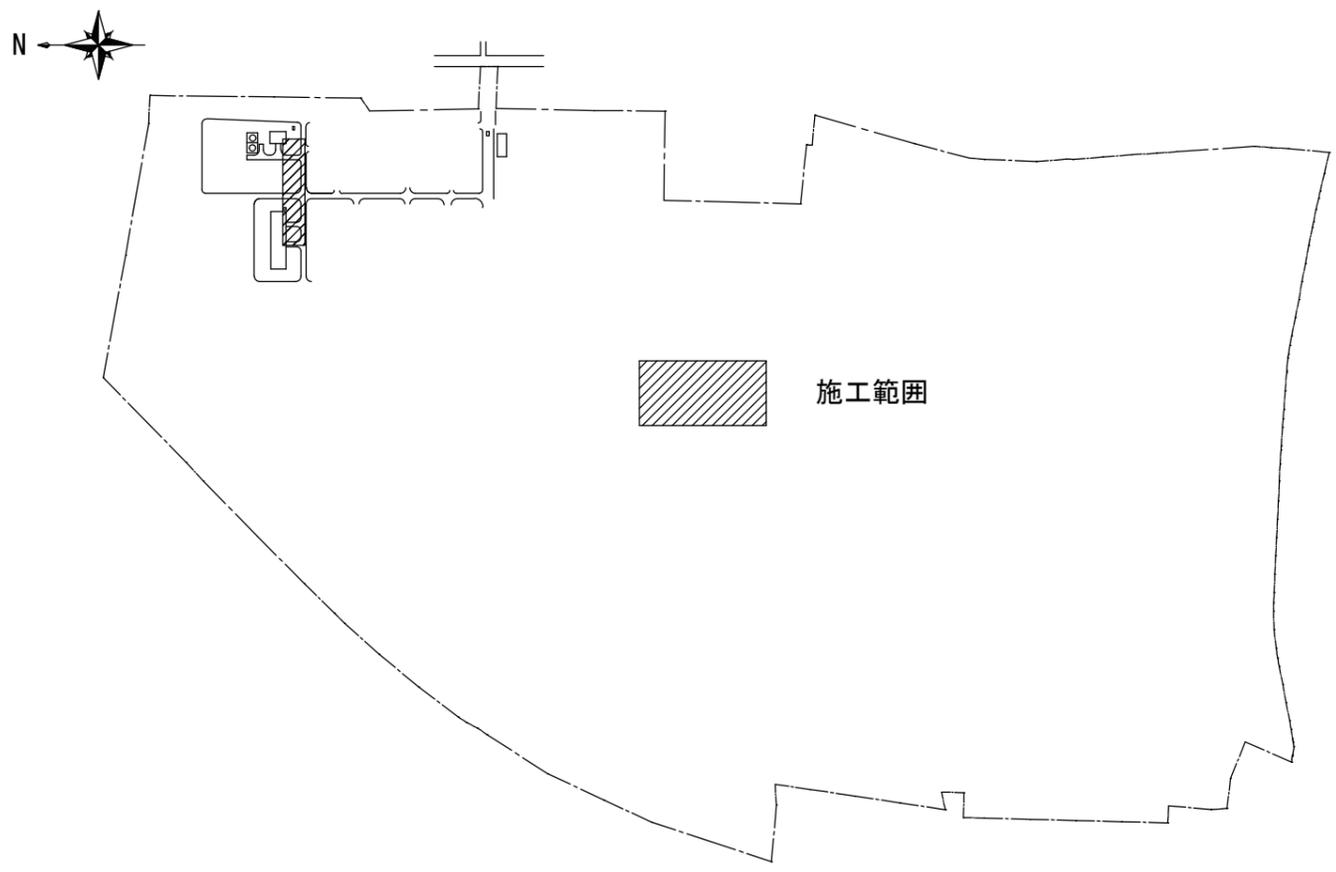
(3) その他

- ア 本件に使用する材料は、本仕様書及び図面に定める品質及び性能を有する新品とし、監督官の検閲を受け合格を得たものとする。
- イ 本仕様書及び図面に記載並びに監督官の指示がなくとも技術的に当然なすべき事は実施するものとする。
- ウ 本仕様書及び図面に記載の寸法等はあくまでも標準を示したものであるため、必ず現場確認を行い、施工するものとする。
- エ 工事において必要な電気水道は、すべて請負業者の負担において用意するものとする。
- オ 本件の工事については、契約締結後速やかに実施するものとし、細部日程については、監督官の調整によるものとする。
- カ 本工事の補償については、竣工検査後自然災害又は官側の過失によるものを除き1年間とする。
- キ 工事実施時間は0815から1700までとし、停電日等の監督官が指定した日を除き、土曜日、日曜日及び祝祭日の作業は、原則として実施しないものとする。

工事名称	(07) 埋設管補修工事	図面番号	3/8
図面名称	仕様書	縮尺	図示
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年	5月 8日



案内図 S=1/X

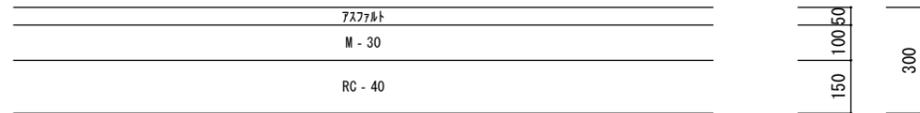


配置図 S=1/X

工 事 名 称	(07) 埋設管補修工事	図面 番号	4 / 8
図 面 名 称	案内図、配置図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年 5月 8日	

3

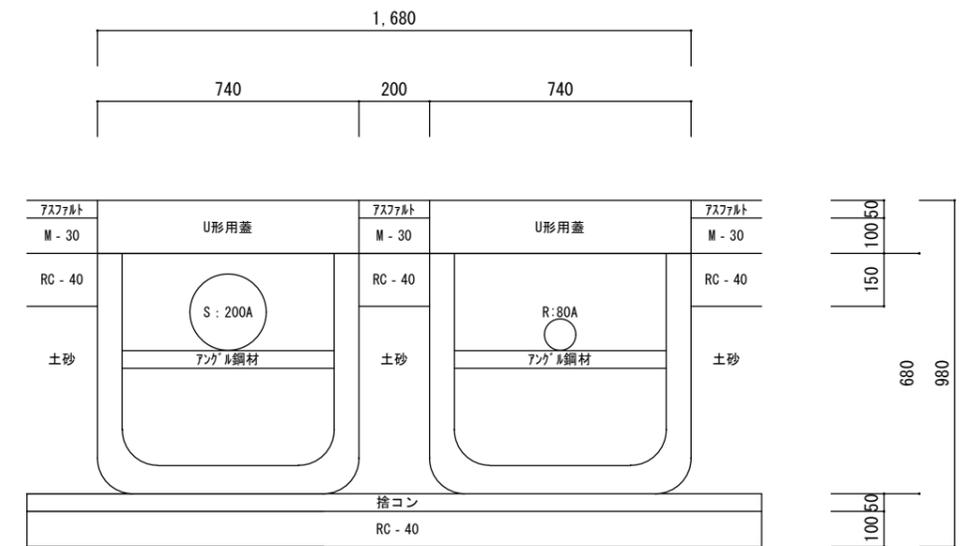
竣工前



S=1/20

3

竣工後



S=1/20

4

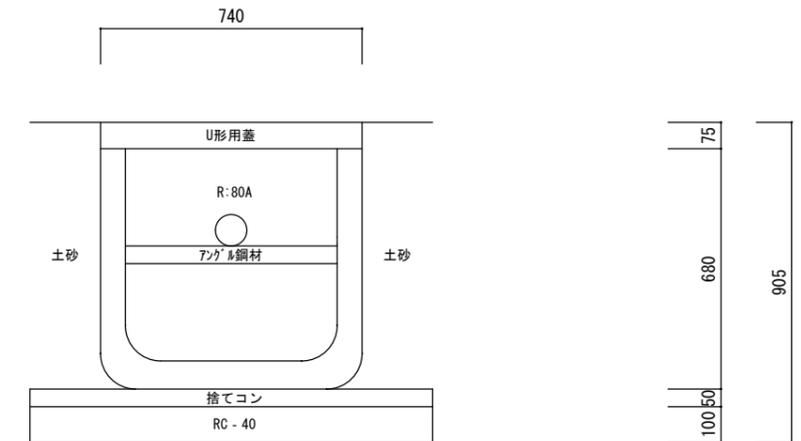
竣工前



S=1/20

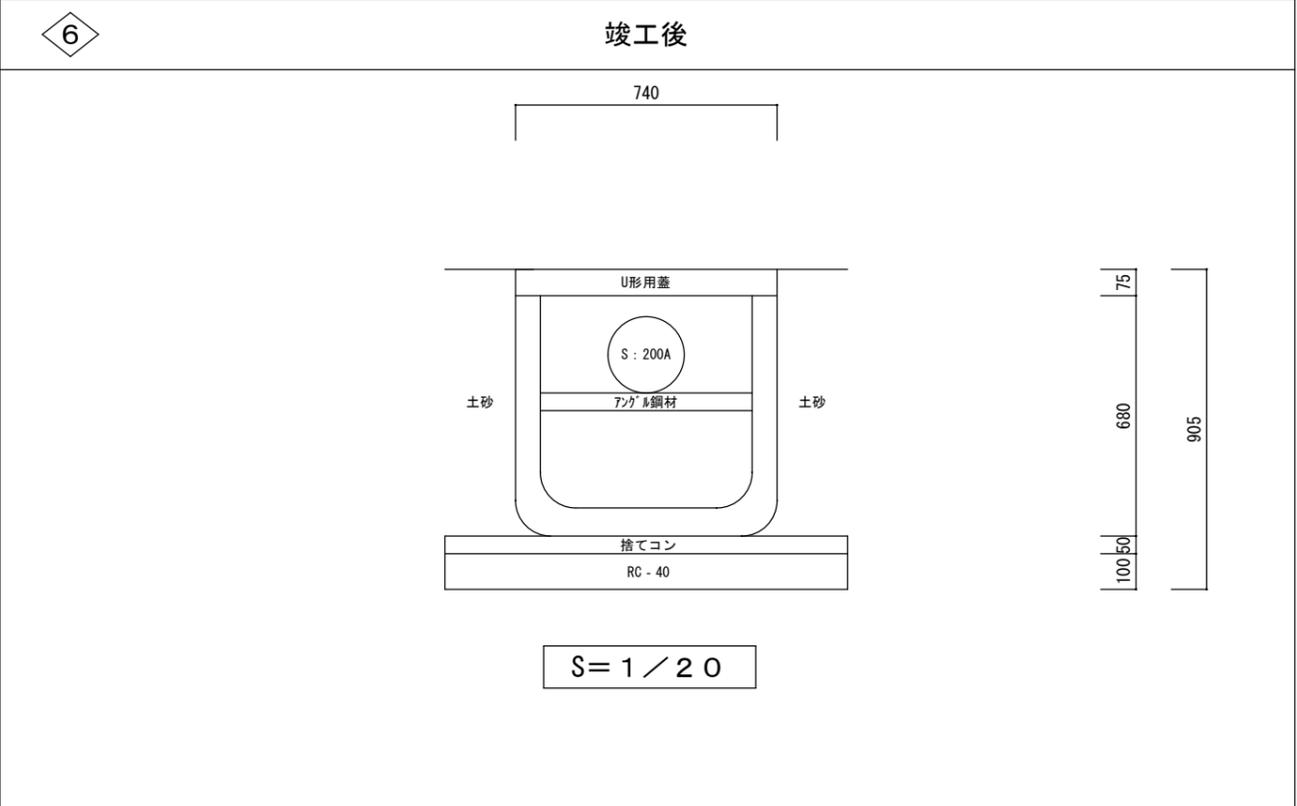
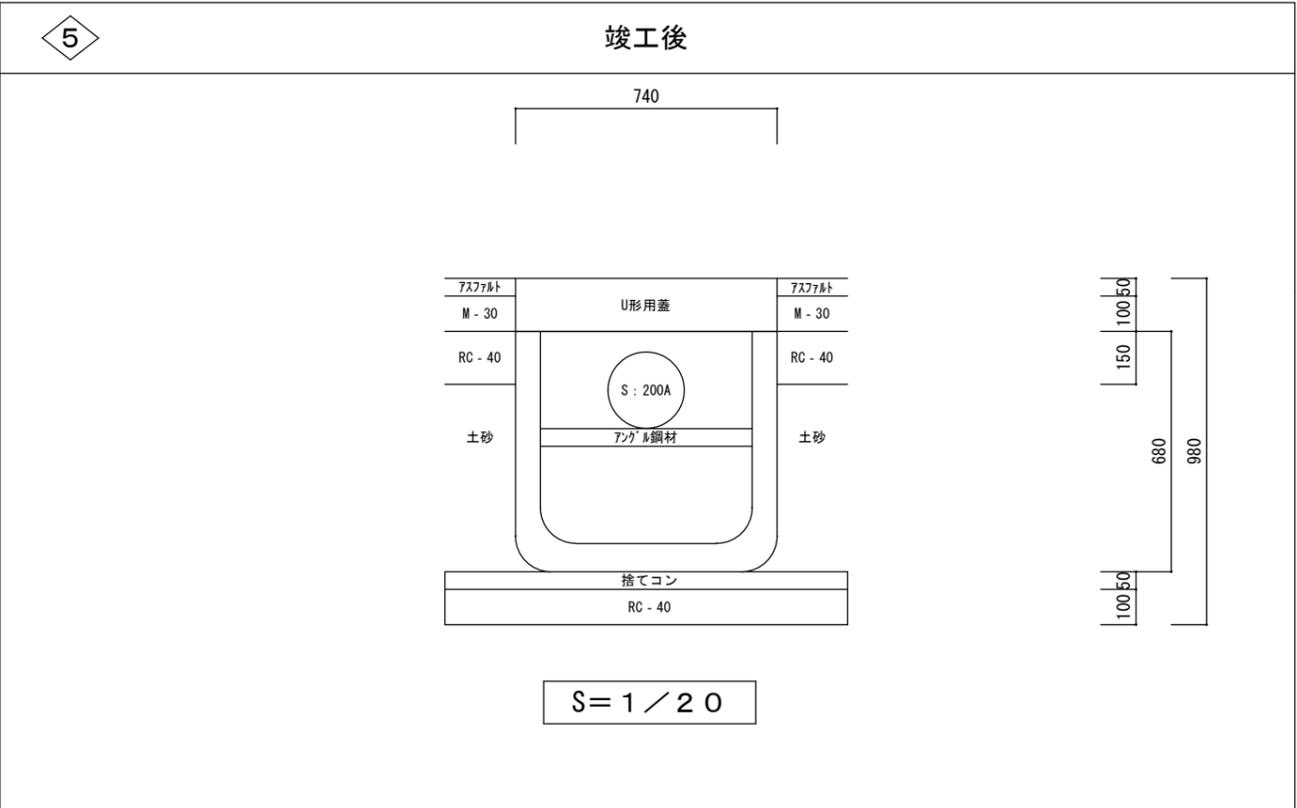
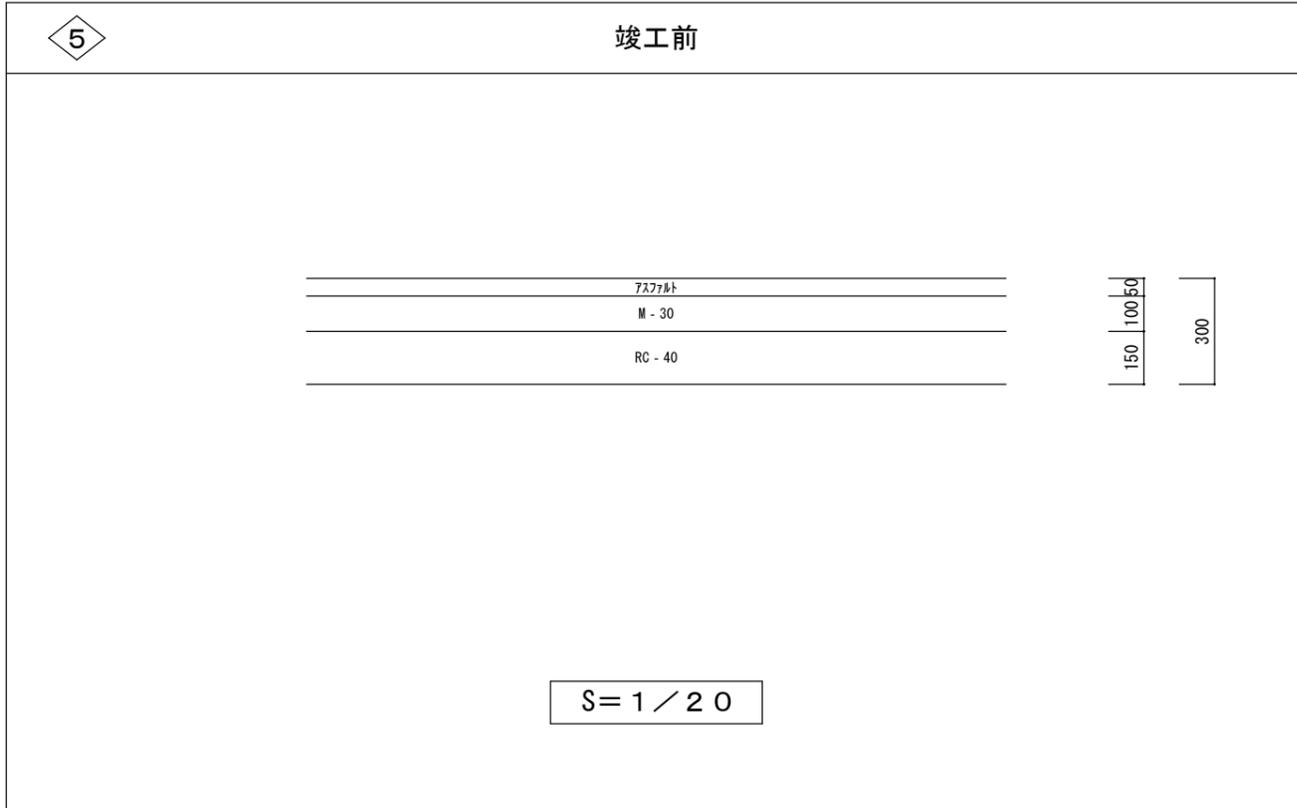
4

竣工後



S=1/20

工 事 名 称	(07) 埋設管補修工事	図 面 番 号	7 / 8
図 面 名 称	掘削断面図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年 5月 8日	



工 事 名 称	(07) 埋設管補修工事	図 面 番 号	8 / 8
図 面 名 称	掘削断面図	縮 尺 図 示	
陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		令和 7年 5月 8日	